

目標1 人と自然が共生する環境の整ったまちをめざして

前文

8行目「人々」が町民を示すのならば、「町民」とした方が良いのではないか。

政策1 計画的な土地利用と都市計画を進めます

特に意見無し。

政策2 自然環境の保全と良好な生活環境づくりを進めます

特に意見無し。

政策3 道路と公共交通の環境整備を図ります

特に意見無し。

政策4 災害を未然に防ぐ対策を行います

後ろから2行目「準用河川・普通河川」について、一般町民には意味のある言葉か。用語の説明をつけるか、「河川」だけでよいのではないか。

政策5 安全な水の安定供給を行います

当初配布資料から内容が大幅に変わっている。はじめに配布された文章では、「ナショナルミニマム」と「シビルミニマム」が判りやすく記載されていた。今のままだとわかりづらい。「独自の基準」について、はっきりさせた方がよいのではないか。

政策6 水辺環境と生活環境の保全に貢献します

「ライフサイクルコスト」については、用語の解説が必要では。

目標2 いきいきとした活力のある産業のまちをめざして

前文

5行目「ビジネスチャンスの拡大」は産学連携に掛かるのかどうか。文章を修正した方がよい。

政策1 農業の振興を図ります

特に意見無し。

政策2 林業の振興を図ります

後ろから2行目「森の里親事業」について、基本構想で具体的事業名を挙げるならば、実施計画も独立したものを挙げるべきではないか。(実施計画よりも基本構想のほうが具体的)

政策3 工業の振興を図ります

工業にとって「受注開拓」が課題。そのために諏訪工業メッセ等への参加が重要になるが、「参加の促進」を行政が実施すべきではないか。リーダーの育成も必要。

政策4 商業の振興を図ります

商店街の衰退は全国的な傾向だが、これをどうするか具体的な指針を構想の中で明記すべきではないか。「商店は町民の交流の場」等の位置付けも必要では。商店街のリーダーの育成も必要。

オッコー祭りについては、あり方検討を含め、行政の関わり方をはっきりすべき。

町が実施できることは「誘客対策」や「イベント企画」。「富士見らしさ」を出せたら良い。

オッコー祭りについて、町が実施の主体でないのならば、基本構想の中では「各種イベント助成」程度の表現のままで良いのではないか。

政策5 観光の振興を図ります

「花と心の里山構想」が観光基本計画に位置付けられているのならば、そのことを触れたほうが良くないか。

町のめざしている観光の基本方向についても記載がほしい

花や食についての取組みが始まっている。花については、もう少し詳しく書いてもよいのでは。

政策 6 安定した雇用を確保します

「安定した雇用の確保」は、誰のために実施するのか。企業と労働者のどちらにでも取れるような文章なので明確にしたほうがよいのでは。

現在継続している事業を具体的に挙げてよいのではないか。(企業ガイド、新入社員歓迎会等)

目標 3 健康で生きがいのある福祉のまちをめざして

前文

特に意見無し。

政策 1 こころも体もすこやかな健康づくりを推進します

文章の表現が全体に幼稚。

地域医療体制に対する記述が無い。基幹病院としての高原病院との連携も必要だし、出産ができる病院が無いことは、町民にとって大問題。行政がフォローすべき問題で、取組みを記載すべき。

5行目「母親及び乳幼児の健康指導」の母親は、誰を示すのか。「妊婦」と「乳幼児健診対象の母親」に対する対策が別なものならば、別に書いた方がよいのではないか。

終わり2行は、あたりまえのこと。記載する意味が無い。

政策 2 地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進します

4行目と5行目は同じ表現の繰り返しになっている。

後ろから2行目「地域で支えあう福祉」について、もう少し具体的に記述した方がよいのではないか。

政策 3 自立と予防を重視した高齢者福祉を推進します

4行目「介護にならない」は、表現としておかしくないか。

政策 4 消費者保護や行政に対する相談事業を実施します

5行目「消費者の保護を図る」について、役場がどこまでのことをするのか。この表現だと、「何かあった場合は役場が守ります、保護します」と読める。現実対応の範囲で表現した方がよいのでは。

目標 4 子育てを支援し、豊かな人間性を育む保育・教育・生涯学習環境をめざして

前文

前文、各政策とも他の目標の表現と比較し、均衡が取れていない感じがする。

政策 1 子どもの人権・最善の利益を尊重します

現在示されている実施計画と連動していない。実施計画は、これから詳細を詰めていくとのことだが、基本構想との連動をきちんと確保してもらいたい。(言葉だけにならないように)

政策 2 子育てを地域全体で支援する体制を整備します

前段と後段で、同じことを二度表現していないか。

2行目「職場や配偶者の理解の不足」や6行目「父親の育児参加が可能となる社会的環境」

の表現など、「出産育児は基本的に妻がやるもの」で、「夫は理解するもの」との図式になっていないか。町の次世代育成支援対策推進新行動計画でのめざすものは「男女協働意識の啓発」となっている。

子どもが心豊かに育つためには、両親が心豊かでなくてはならない。出産前からの両親の教育が必要で、教育プログラムを充実すべき。心豊かな子どもが増えれば、学校でのトラブルもなくなる。若者の移住促進にもつながる。

政策 3 豊かな感情と知性を育む教育・学習環境を整備します

1行目「経済状況」は「社会状況」の方が良くないか。

学校の適正規模、統廃合等の問題が記載されていない。大変重要な問題であり、基本構想の中に表現すべきでは。

政策 4 生涯学習を推進し、心のふれあう文化のまちをめざします

「図書館サービスの充実」については、「日本一」等の表現を入れても良いのでは。

政策 5 男女共同参画社会づくりを推進します

終わりの2行「思いやり、いたわりあい、認め合い、支えあう」は、もう少し前向きな表現を入れても良いのでは。「痛みを共有」みたいな表現になっている。

政策 6 町の歴史と人々の生活、文化遺産を学ぶ学習環境を整備します

特に意見無し。

目標 5 安全安心なまちをめざして

前文

特に意見なし。

政策 1 消防計画の推進を図ります

特に意見なし。

政策 2 防災計画の推進を図ります

情報手段(無線、ホームページ)は、子どもの安心安全にも活かせる手段を検討して欲しい。

政策 3 国民保護計画の推進を図ります

特に意見無し。

政策 4 安全なまちづくりの推進を図ります

特に意見無し。